

# 世界へ

## マレーシア・シンガポール 青少年海外視察研修

光町の未来を担う青少年に、豊かな人格と広い国際感覚を培ってもらうために実施している青少年海外視察研修は、今年で11回目を数え、8月21日から25日の5日間、14名が参加し、マレーシアとシンガポールを視察しました。

マレーシアでは専門学校を視察し、シンガポールでは老人ホームでボランティア体験、千葉県県シンガポール事務所視察、現地青少年との交流会を行い、文化や生活習慣の違いなど数々の体験や感動を旨に帰国しました。



水橋 美希  
（入社）

### 多くのことを学ぶ

日本から一歩も外へ出た事のない私。それだけに、今回の海外視察研修は、とても興味深く、魅力的な事でした。

クアラ Lumpur に着いて、最初に目についたのは、イスラム教の女性。空港はとてとても奇麗で近代的。日本との差は感じませんでした。でもその女性は、民族衣装を身にまとい、明らかに日本とは違っていました。「やっぱりここはマレーシ

アなんだ。」そう思ったら、マレーシアの文化、歴史、生活全てのことにもますます興味が出てきました。

翌日、最初の訪問地「サンウェイカレッジ」へ行きました。学校の中にはいろいろな人種や宗教の人がいますが、私達はその人達と一時を共に過ごしました。そして、日本しか知らない人間にはなりたくない、もっと世界を見てみたい、そう思いました。

シンガポールでは、老人ホームを訪問しました。そこで働く人達やボランティアの人達と交流をしました。ここで生活する老人の笑顔こそが、彼らの喜びなのだと思いました。

千葉県シンガポール事務



所を訪問したときは、現地の教育事情をメインに、話を聞きました。

この国の教育に対する力の入れ方は、日本をはるかに上回っていました。

そして、帰国前夜、現地の青少年と夕食を共にしました。

こうして、たくさんの人達と出会い、見たり、聞いたり、経験して、私達はたくさんさんの事を、吸収して帰国することができました。お世話になった皆様に感謝いたします。



塚川 大地  
（木戸・高校1年）

### 驚きと感動の研修

マレーシアとシンガポールで過ごした5日間は、忘れることができない程楽しかったです。そして、大切な事をいろいろ学び、思い出をたくさん作りました。

8月21日、大きな不安とスーツケースを持ち出発した私は、飛行機で7時間ほどかけ、マレーシアのクアラ Lumpur へ到着。その場所ですごく感じたことは、たくさんさんの異なった民族が共存しているというこ

とでした。日本で日本人しか見ていなかった私にとってそれは、信じられない光景だったのです。

ここでは現地の学校訪問や、市内とその近郊を観光しました。中でも心に残ったのは、現地の学校「サンウェイカレッジ」のことです。その生徒はイヤな顔一つしないで、私の下手な英語を理解しようと真剣になつて聞いてくれた事でした。その時、とてもうれしかったのと同時に、英語をもっと勉強しておけばよかった、と思いました。

シンガポールでは老人ホームを訪れました。私達はそこで少し手伝いをした後、施設内を案内してもらいました。聞くところによると、介護の資格を持っている人は少なくて、あとはボランティアの方ということでした。日本人は、ボランティアに対し積極的ではないといわれています。私はこういういた所をもっと見習うべきだと思えました。

この研修で学んだたくさんさんの貴重な体験をこれからも役立てていきたいと思えます。